

## 令和3年度 仙台市食育推進会議（書面開催） 結果

令和3年8月18日（水）に開催を予定しておりました令和3年度仙台市食育推進会議は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、書面開催といたしました。

### 1. 書面による審議等について

審議依頼：令和3年8月19日（木）

回答期限：令和3年9月10日（金）

### 2. 議事

以下の内容について、質問・意見をいただきました。

(1) 令和3年度食育推進事業計画について

(2) 仙台市「食育推進」ロゴマークの活用等について

(3) 第4次食育推進基本計画について（説明のみ）

(4) 仙台市食育推進計画〔第2期〕後期計画の評価及び次期計画策定について

### 3. 配布資料

【資料1】 令和3年度食育推進事業計画

【資料2】 仙台市「食育推進」ロゴマークの活用について

【資料3】 第4次食育推進基本計画の概要

【資料4】 仙台市食育推進計画次期計画の策定に向けて

【資料5】 仙台市食育推進計画〔第2期〕後期計画と（国）第4次食育推進基本計画の項目比較

【資料6】 調査項目について（市民健康意識調査 調査票）

### 4. 回答委員

13名（未回答1名）

※ 仙台市健康福祉局長、子供未来局長、経済局長、教育長を除く

### 5. 各議題の質問・意見及び感想等について

別紙のとおり

## 令和3年度仙台市食育推進会議（書面開催）意見・感想等

### 議事1：令和3年度食育推進事業計画について

番号	質問・意見	回答
1	仙台市内の小中学校の生徒に対し、タブレット端末が配布されているようなので、食育に関することも活用してもらえそうなものを検討してはどうでしょうか。	【教育局健康教育課】 タブレット端末につきましては、各教科等において、例えば給食で使用される食材の情報を動画や画像を用いて説明する際に活用しております。引き続き、タブレット端末も効果的に活用しながら、食育に取り組んでまいります。
感 想 等		
2	コロナ禍の中での活動ですので、企画倒れ、制限がかかるなどで思うように進まないところがあるようです。その中でも、実施時期をずらしたり、動画を用いるなど工夫しながら活動されているところが見受けられました。	
3	各団体において、コロナの中でも活動をどのようにしたらよいかを考えながらもしっかりと活動できているように感じる。当仙台市PTA協議会としても、家庭においても食育に努めてほしいとの呼びかけを心がけている。	
4	団体ごとに工夫され、実施予定を立てていることがとてもすばらしく驚いた。「できることを形に」という計画になっている。新型コロナウイルスの影響で実施が難しくなることも予想されるが、何らかの形で実施していただければと思う。	
5	このコロナ禍の状況において、各自工夫して推進している姿が見られた。皆さんの事例を参考にして、WEB配信なども取り入れ、徐々に対面イベントなどを増やしていきたい。益々イベントが実施しにくい状況となりつつあり、リーフレットづくり等も取り入れ幅広く活動を検討していきたい。	
6	新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の中、人・物の国際的な交流や物流が、強く制限され、当面、国内において大きな影響が続く状況にあると考えられる。新しい生活様式では、日常的なマスク着用や密集、密接、密閉の三密の機会を避けることにより、外食での共食の機会が減少する一方で、家庭での調理や食事の増加、ICTツールを活用した共食を楽しむ方法の定着なども見られ、改めて食への関心や課題を認識する人も多く現れるなど、更なる変化の兆しがある。直接的に対面する機会が減少する中で、様々な分野でICTツールが急速に普及し、ネット上においても視聴回数が急伸するなど、これまでにない変化があり、今後もこのような変化を踏まえた情報提供やイベントの開催方法の工夫などが求められる。	

議事2：仙台市「食育推進」ロゴマークの活用等について

①資料2 についてのご意見・ご質問

番号	質問・意見	回答
1	令和3年度における泉区の活用方法がなかったので、やはり何らかの事業（母子、食育関係中心）でPRすべきと思いました。	<p>【健康福祉局健康政策課】</p> <p>資料2について記載の令和3年度の活用については7月時点で予定している内容の一部となっております。母子保健事業、食育推進事業でのロゴマーク活用については、資料2には明記されておりましたが、各区・支所で実施の予定でございます。情報共有を図りながら、どこの区でも同様に情報発信ができるよう努めてまいります。</p>
2	上杉分庁舎の1階に各局からのお知らせコーナーがあり、これを利用することはできないものかと感じました。「健康お役立ちレシピ」を置いて紹介してもいいのではないか。	<p>【健康福祉局健康政策課】</p> <p>「健康お役立ちレシピ」については、各区役所・総合支所で配布しております。また、仙台市ホームページや市政だより、河北ウィークリーなどで、配布場所をお知らせしております。食育の啓発媒体については、いただいたご意見も参考に、今後も効果的に啓発できるように努めてまいります。</p>
<b>感想等</b>		
3	資料2を見て、仙台市の各局がロゴ活用を推進されていることがよくわかりました。デザイン性が高くすてきなロゴなので、さらに活用していただきたいと思います。	
4	食に関するだけでなく、仙台市のあらゆる事業所で活用してもらいたい。	
5	制作者が思いを込め「食事はお腹を満たすだけでなく、コミュニケーションを通して心を満たすもの。その心とお腹が満たされた瞬間、食べ物を頬張る笑顔で表現し、食事の楽しさをストレートに表現」したロゴマーク。今正にコロナ禍で疲弊しきった市民の為に、このロゴマークを多く使う機会を増やし「笑顔が増えていく」食育を目指したい。このロゴマークを福祉学習で見せる機会があったが、非常に評判が良かった。	

議事2：仙台市「食育推進」ロゴマークの活用等について

②各団体等での活用案や今後の市民への周知について

番号	質問・意見	回答
1	<p>ロゴマークは仙台市HPからコピーしてよかったですでしょうか。学科ブログに載せたいと思います。食育推進のポスターはありますか。あれば、掲示をしたいと思います。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b>                      ロゴマークについては、希望する団体に仙台市食育推進会議事務局(仙台市健康福祉局健康政策課)よりデータを配布しております。ロゴマークを使用される際は、事務局までご連絡ください。また、ロゴマークについては、仙台市ホームページに利用規約を掲載しております。                      食育推進のポスターについては、現在作成を検討中です(別添案のとおり)。作成後は仙台市食育推進会議の構成団体のみならず、掲示していただける施設に配布いたします。</p>
2	<p>保健福祉センターに行く機会がない人でも、仙台市「食育推進」ロゴマークを目にすることができるように、青葉区保健福祉センターが作られたような啓発チラシを、いろいろな場所に掲示してもらおう。すでに行っているかもしれませんが、(6月など)市政だよりに掲載して食育推進を啓発するなどしてはいかがでしょうか。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b>                      チラシ等による啓発については、青葉区保健福祉センターでの配布の事例も参考にしながら、別添案のポスターと一緒にさまざまな施設等で配布できるよう、検討いたします。また、市政だよりへの啓発記事の掲載については、今年度は6月の食育月間に合わせ、各区家庭健康課において記事を掲載するなど、これまでも取り組んでいるところですが、今後はロゴマークの掲載についても併せて取り組んでまいります。ロゴマークについては、仙台市ホームページに利用規約を掲載しております。</p>
3	<p>資料2の仙台市での現在のロゴマークの活用方法を継続するとよい。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b>                      現在の活用方法については、今後も継続して取り組んでまいります。</p>

番号	質問・意見	回答
4	<p>Facebook などのバナーを作成して、連携いただけるとロゴやイベントの周知となると思われる。記事の中に、「拡散ください」とか、「周知願います」などの記載があると、その都度確認する必要もなくシェアしやすいと思われる。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b>          今後も仙台市食育推進会議の場で関係団体の運営する Facebook やその他 SNS、ホームページなどでシェアできる情報を共有し、相互に拡散できるような方法を検討いたします。(ポスターと同様、市民がロゴマークとともに「食育とは」や「食育の具体的な取組」が理解できるようなページを作成し、シェアしていただくなど)          なお、ロゴマークについては、仙台市ホームページに利用規約を掲載しております。</p>
5	<p>公募型で「デザインコンペ」を行い、「食育ロゴマーク」を活用した食育推進周知ポスターやチラシを作ります。そして、飲食店やデパート、生協における店頭ポスター、ポップあるいは地下鉄の車内吊りといった、人の目が多いところに掲示します。これらによりオーディエンス(受け手)の注意をひき、ボディコピーへの関心を喚起させ、浸透を図るということを一考されてはいかがでしょうか。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b>          食育の啓発および仙台市「食育推進」ロゴマークの周知方法については、いただいたご意見を踏まえて効果的な方法について、検討を進めてまいります。</p>
6	<p>食育ロゴマークでピンバッジを作成してはどうでしょうか。</p>	
7	<p>市民の皆様に広く知っていただくための手段や方法を工夫する必要があると思う。(例えば・・・地場産物を使用している店など飲食店に貼ってもらうなど。)</p>	

番号	質問・意見	回答
8	<p>虫歯という問題は、「甘い飴やガムを摂取する」、「糖分入りの飲み物を摂取する」、「砂糖の摂取が多い」といった食生活の延長にあるといわれています。</p> <p>『虫歯は食生活習慣病』という言葉聞き、まさにその通りだと感じたところです。小学生のお子さんがある家庭を対象に、虫歯に関するアンケートへの協力を依頼し、その結果を食育推進会議の資料として活用することはできないものかと思料しております。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b></p> <p>仙台市では、市内の小中学校や保護者、中高生に対し、歯と口の健康に関する調査（学校歯科保健活動調査等）を行っており、口腔内の健康状態のほか、糖分を含む間食の摂取状況等についても把握しております。こちらの調査結果については結果がまとまり次第、仙台市食育推進会議の資料として提供いたします。</p>
感想等		
9	<p>食に関するイベントを開催する際、チラシ、アンケート等に積極的に使用していきたい。またWEBなどにイベント報告などを掲載する場合も載せていきたい。</p>	
10	<p>自身の現職である障害者就労移行支援事業所等で今後使用し周知していきたい。ロゴマークの可愛さを取っ掛かりにして、「食」の話へ入りやすい。精神疾患の障害者が多数在籍しているため、言葉やニュアンスよりもロゴマークが認識しやすいため。就労ピラミッドの初めの部分に「健康管理」「日常生活管理」。仙台市は福祉のまちづくりに大変尽力、障害者就労を増やし充実を図りたい。</p>	

議事 4：仙台市食育推進計画〔第 2 期〕後期計画の評価及び次期計画策定について

番号	質問・意見	回答
1	<p>計画については問題ないが、子供のころからの食に対する意識づけが必要だと思う。給食の残食状況を調査し、好き嫌いにかたよるメニューを改善し、子供たちが食に対する喜びを体感すべきだと考える。</p>	<p><b>【教育局健康教育課】</b> 給食の残食状況は、単独調理校及び学校給食センターで調査しており、和食や豆類を使用した献立で残食が多い傾向となっています。給食は、日本各地方の料理や伝統的な料理、栄養の大切さなどを日常の給食指導やおたより等により児童生徒に伝える機会であるとともに、成長のために必要となる栄養価の充足が求められます。そのため子供たちには好まれない献立となる場合もありますが、おいしく楽しい給食であるよう、引き続き、献立の工夫に努めてまいります。</p>
2	<p>資料 5 仙台市食育推進計画の指標項目の「朝食を毎日食べる人の割合」には、7、8、9、10（20 歳代男性・女性、30 歳代男性・女性）のほか、40 歳代男性、50 歳代男性を加える必要があると考える。なぜなら、メタボリックシンドロームに移行する可能性がある年齢である。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b> 朝食を毎日食べている人の割合は平成 28 年度市民を対象に実施した調査より、20 歳代、30 歳代が他の年代と比較して低い傾向にあることから、指標として設定しています。ご指摘の通り、40 歳代、50 歳代の男性はメタボリックシンドロームの課題もあるため、次期計画の指標については、今年度実施する調査から食生活の課題を精査し、今後の食育推進会議の中で検討を進めてまいります。</p>
3	<p>資料 6-2 P 4 問 1 6 の前か後にフレイルについて知っているか問いかけしてほしい。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b> 国の第 4 次食育推進基本計画にはフレイルの認知度についての指標は無いため、仙台市でも指標とすることは想定しておらず、今回の仙台市民の健康意識等に関する調査には含めておりません。 フレイルの予防・対策については、基礎健診等のデータを用いて実態把握に努めるとともに、関係課と連携の上、効果的な取組ができるよう、進めてまいります。</p>

番号	質問・意見	回答
4	資料6-2（仙台市民の健康意識等に関する調査）のP6の問21（食品の摂取頻度）の質問に肉、魚が入らないのはなぜか教えてください。	<p>【健康福祉局健康政策課】</p> <p>食品の摂取について、P6の問21では、特に食べる頻度が少ないとされている食品群について質問しているものになりますので、肉・魚は含めておりません。</p> <p>肉・魚の摂取量については、国民健康・栄養調査や県民健康・栄養調査の食事調査の結果を用いて評価しております。</p>
5	資料6-2の問5（加入している保険の種類）は、どのような理由からお聞きするのでしょうか？	<p>【健康福祉局健康政策課】</p> <p>問9（健康診断の受診状況）の結果と併せ、保険の種類による健診受診状況の違いを把握するための設問としています。</p>
6	資料6-2の問73（地域活動への参加状況）、問74（地域の状況について感じていること）はどのような理由からお聞きするのでしょうか？	<p>【健康福祉局健康政策課】</p> <p>高齢者のフレイル予防のためには、地域活動やボランティア等に積極的に参加することも重要とされています。社会参加や地域とのつながりが、健康状態に影響しているか把握するための設問としています。</p>
7	<p>市政モニター調査の設問には、Q38（「メタボリックシンドローム」という言葉を知っているか）とQ39（「メタボリックシンドローム」の診断基準を知っているか）でメタボリックシンドロームについて聞いていますが、仙台市民へのアンケート中には設問がありません。なぜでしょうか。</p> <p>市民アンケートに「メタボリックシンドロームの該当者割合が政令市の中でも高いことを知っているか」とか市政モニターと同様の設問にしてはどうでしょうか。</p>	<p>【健康福祉局健康政策課】</p> <p>メタボリックシンドロームの理解については、平成28年度の調査において市政モニター調査で調査し、評価指標としております。今回は最終評価となるため、前回調査と同様の方法での調査とし、次期計画策定時には、指標の設定を含め、検討いたします。</p>



番号	質問・意見	回答
8	<p>「仙台市食育推進計画」次期計画の策定を1年間延長することに異論はありません。ただ、次期計画策定時の課題として、国の第4次食育推進基本計画の冒頭の文章にもあるように、農林漁業者の著しい高齢化、後継者不足の問題は宮城県においても同様で、このコロナ禍でますます影響は大きいことから、食育を推進するためのデジタルツールやインターネットの、積極的な活用の必要性を十分反映させたものにしていくことが重要と考えます。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b>            いただいたご意見を次期計画に反映できるよう、今後の食育推進会議の中で検討していきます。</p>
9	<p>近年の食をめぐる状況は、刻々と変化している。少子高齢化、働き方や暮らし方の多様化等を背景とした、核家族・単独世帯の増加などに伴い、私たちの食を取り巻く環境は、家庭や地域など共同体的コミュニティから、学校や職場などの組織的コミュニティへと比重が変化している。WITH コロナ・POST コロナ社会における新しい生活様式や新たな日常に対応する取組が必須。こうした取組は、「誰一人取り残さない」社会（孤食を無くす）を実現するため。</p>	
	<p>学校給食で地場産物を食し、郷土の歴史などを学ぶというのは、とても大切な機会になると思われる。環境に配慮した食品を選択し、持続的な食文化を創りだしてほしい。また多少、各自負担し、イベントデーなどを設けるのも楽しいかもしれない。</p> <p>他にも、現在も取組まれている、ハウス型回収BOXなどを用いたフードドライブなど是非継続していただき、子ども食堂など貧困対策にも力を入れてほしい。</p>	<p><b>【健康福祉局健康政策課】</b>            いただいたご意見を踏まえ、引き続き取り組んでまいります。</p>

感想等	
1 1	食育推進の中にも、無駄をなくす、リサイクル等の環境問題も次世代のためにしっかり取り入れていかないといけないと思いました。今後ともよろしく願いいたします。
1 2	資料6につきまして、「仙台市民の健康意識等に関する調査」に市政モニター調査の内容も加えたので、後期計画の最終評価のためやむをえないのですが、設問数が多くて、回答するのが大変そうに思いました。
1 3	国の第4次食育推進基本計画の内容を見ましたが、心身の健康の増進に加えてSDGsの実現に向けた食育とデジタル技術の有効活用などが加わって、もともと広範囲な食育の範囲がさらに広がり、仙台市の次期計画の推進は大変そうに思いました。
1 4	提案が妥当だと思います。賛同いたします。
1 5	新型コロナウイルスの影響で実施の見送りが多かったのではないかと思う。こういった状況の中で、食育推進計画をどのように進めていくのか大変ではあると思うが、考えていかなければならないと思う。

議事4の、現行の「仙台市食育推進計画〔第2期〕後期計画」を「第2期いきいき市民健康プラン」に合わせ、計画期間を1年延長する案について、委員の皆様から反対の意見はございませんでしたので、案の通り進めてまいります。